

梅雨時期の大雨に対する農作物等の管理について

令和8年6月26日
福井県農業総合指導推進会議

1 共通事項

<大雨前の対応>

- ・降雨により、ほ場が浸水、冠水することのないよう、排水溝の手直しをおこなう。
特にこれまでに冠水や浸水したことのあるほ場は、重点的に排水対策を実施する。
- ・大雨の中で見回りなどを行うと、河川や農業用水路への転落などの危険があるので雨が止むまで控える。
- ・大雨がおさまった後も、増水した河川や水路等の危険な場所には近づかない。
- ・降雨により、ほ場の畦畔や法面が崩壊しやすくなるので厳重に注意する。
- ・作業中の熱中症対策に留意する。

<大雨後の対応>

- ・ほ場や施設が浸水した場合は、溝を切ったり、排水ポンプで強制排出する等、速やかに排水対策を行い、24時間以上湛水状態にならないようにする。(根部を守る)
- ・茎葉が損傷した場合は、出来る限り早急に殺菌剤を散布し、傷口からの細菌病等の感染を阻止する。
- ・ポリマルチをしている畝が冠水した場合は、マルチを除去したり、畝肩の部分をめくり上げたりして土壌水分を低下させる。
- ・ハウスは速やかに換気を行い、適切な温湿度管理に努める。
- ・施設や設備等の点検を行い、補修を行うなど現状回復を図る。

2 水稻

<大雨前の対応>

- ・薬剤の流亡を避けるため、大雨前の薬剤の散布は見合わせる。

<大雨後の対応>

- ・浅水管理に移行する。
- ・降雨直前に除草剤を散布していた場合、成分が流亡し効果が低下することが懸念されるので、雑草の葉令を確認し中後期除草剤等で対応する。

3 大豆

<大雨前の対応>

- ・湿害による生育不良を防ぐため、圃場の排水に努める。
- ・圃場周囲や内部の排水溝の清掃、掘り直しなど排水対策を徹底する。

・隣接水田からの浸水にも注意し、漏水防止と排水徹底を図る。

<大雨後の対応>

・冠水、浸水した場合は、早期に強制排水を行う。

4 野菜・花き

<大雨前の対応>

・圃場周囲や内部の排水溝の清掃、掘り直しなど排水対策を徹底する。

<大雨後の対応>

・冠水、浸水した場合は、早期に強制排水を行う。

・露地作では、土砂のはね上がりや茎葉の傷み、土壌水分過多により病害の多発が懸念されるので、予防的に薬剤による防除を徹底する。

・冠水等により汚泥が茎葉に付着した場合は、付着した汚泥が乾かないうちに散水などで汚れを洗い流す。

・肥料の流亡等により草勢の低下が見られる場合は、追肥や葉面散布剤の散布を行う。

・土壌表面が固くなっている場合は畦表面の中耕を行う。

5 果樹

<大雨前の対応>

・圃場周辺や内部の排水溝の清掃、掘り直しなど排水対策を徹底する。

<大雨後の対応>

・降水量が多く、圃場に長期間滞水する場合は根の活力低下、枯死を防ぐため、側溝のゴミ、泥の除去、除草を行うなどして水の流れをよくしたり、浅い溝を掘って表面水を園外に流したりする。

6 畜産

<大雨前の対応>

・排水の良くない畜舎敷地や圃場では、周囲に排水溝を整備する。

・畜舎に雨が入らないように、戸、窓をしっかりとめておく。

<大雨後の対応>

・畜舎に雨が吹き込んだ場合は、風通しを良くし乾燥に努め、消毒を検討する。

・雨に濡れた飼料や乾草は、速やかに給与するか、廃棄する。